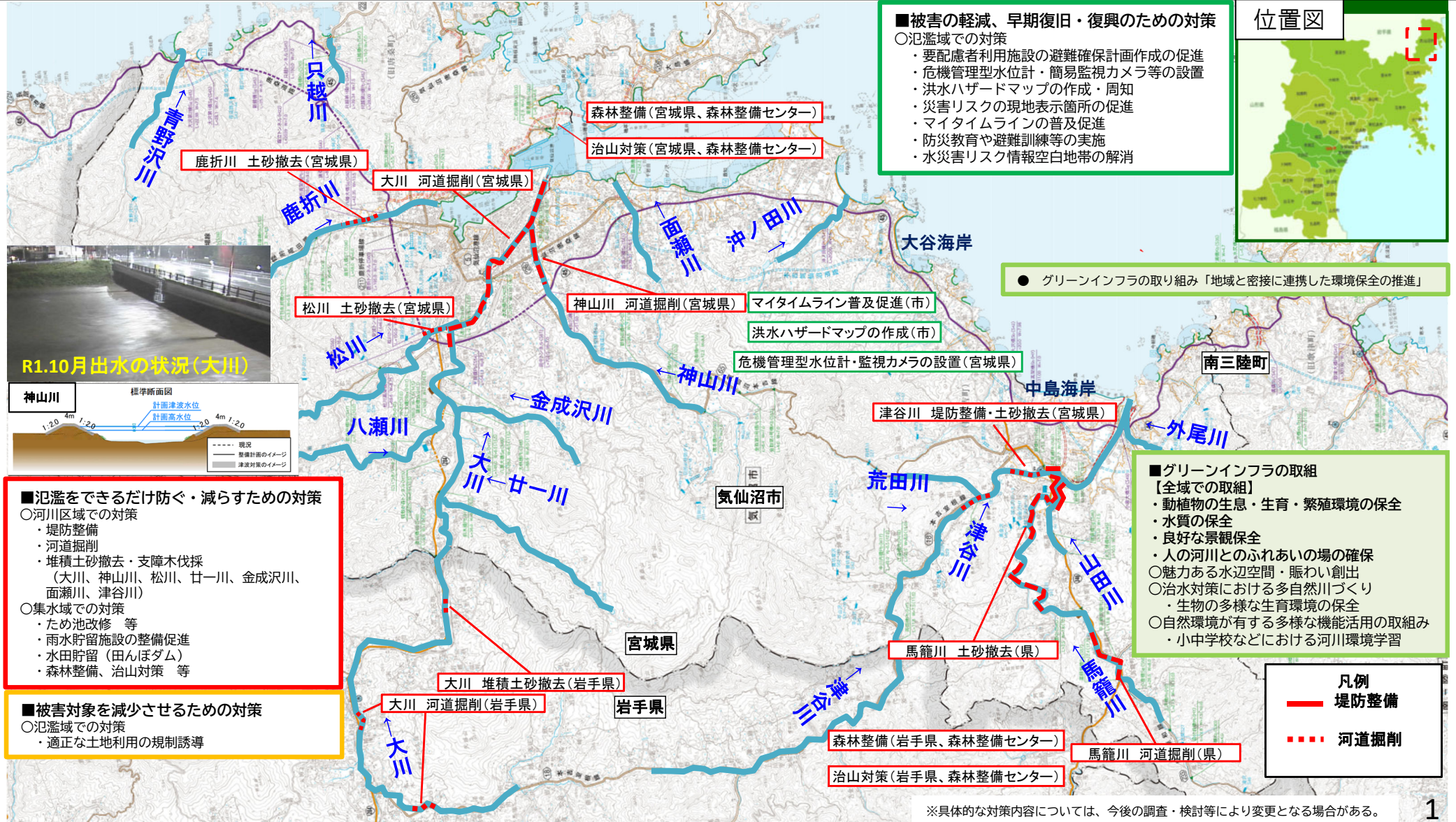


- 令和元年東日本台風では、県内各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、気仙沼・室根圏域においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 県、市等が連携し、以下の取組を実施していくことで、大川水系において50年に一回程度の規模の降雨、津谷川水系・鹿折川水系において、30年に一回程度の規模の降雨、その他圏域（唐桑圏域・気仙沼圏域）において、10年に一回程度の規模の降雨を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 気仙沼・室根圏域では、各河川の上下流・支川の流域における地域特性を踏まえ、県・市等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】大川、神山川、松川、廿一川、金成沢川、面瀬川、津谷川において堆積土砂撤去・支障木伐採などを実施し、治水安全度の向上を図る。
 - 【中期】大川、神山川において、河道掘削などの治水対策を進め、水災害の軽減を図る。
 - 【中長期】津谷川において、流下能力不足を解消するため、堤防整備、河道掘削を行い、流域全体での安全度向上を図るとともに、流域河川の河道状況を把握し、堆積土砂撤去・支障木伐採などを計画的に実施する。
- あわせて、市が進めるまちづくりとの調整を図りつつ、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（雨水浸透貯留施設の新設等）や市街化の進展に伴う雨水流出量の増大を抑制する雨水貯留浸透施設整備の推進などの流域における対策、ハザードマップや河川水位等の情報発信などソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工期		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削	宮城県・岩手県	▶		
	堆積土砂撤去・支障木伐採	宮城県・岩手県	▶	河道内の状況より順次実施	
	雨水貯留施設の整備 ため池改修、水田貯留	気仙沼市	▶		
	森林整備・治山対策等	宮城県・岩手県 森林整備センター	▶		
被害対象を減少させるための対策	適正な土地利用への誘導	気仙沼市	▶		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ソフト対策のための整備	宮城県・岩手県	▶		
	避難体制等の強化 洪水ハザードマップの作成・周知	気仙沼市・一関市	▶		
グリーンインフラの取り組み	生物の多様な生息環境の保全	宮城県	▶		
	小中学校などにおける河川環境学習	宮城県 気仙沼市	▶		
	森林整備・治山対策等	宮城県 森林整備センター	▶		